

<ご存じですか?!>

2026年4月18日に タイのモータ規制が変わります

タイでは、産業用電動機のエネルギー効率向上を通じた国家エネルギー政策の推進および国際競争力の強化を目的として三相誘導電動機に対する効率規制が導入されます。

本規制は、国際電気標準会議 (IEC) が定める効率分類規格 IEC 60034-30-1:2014 に準拠した国家規格「TIS 866 Part 30(101)-2561」として制定されており、2026年4月18日より法的に施行されます。

本制度はタイ工業規格局 (TISI: Thai Industrial Standards Institute) による認証取得を義務付けるものであり、対象となる電動機の製造・輸入・販売に際しては当該規格への適合および認証登録が必須となります。



■ 規則の遍歴

『TIS 867-2550』 (廃止予定の旧規格)

制定年：2007年

規格名：三相誘導モータの最低効率基準(Minimum Efficiency)

対象範囲：出力 0.75kW~185kW、電圧 最大1000V、極数 2・4・6・8極

効率基準：独自のタイ国内基準 (IECとの整合性は限定的)

認証制度：TISI認証は必要だが、国際輸出には不向き

課題点：国際規格との乖離

IEコード(IE1、IE2、IE3など)の明示なし

試験方法の統一性に欠ける



『TIS 866 Volume 30(101)-2561(2018)』 (新規格)

制定年：2018年

規格名：三相誘導モータの効率クラス(IEコード)に関する規格

対象範囲：出力 0.12kW~375kW、電圧 50V~1000V、極数 2・4・6・8極

効率基準：IEC 60034-30-1:2014 に準拠 (IE2以上が義務)

認証制度：TISI認証取得が必須

課題点：国際整合性が高く、EUや米国などへの輸出に対応

試験方法はIEC 60034-2-1に準拠

IEコードによる明確な効率分類



『TIS 866 Part30(101)-2561』 (2026年4月施行版)

施行日：2026年4月18日(官報情報)

内容：Volume 30(101)-2561(2018)が法的義務として施行

変更点(予定)：IE3(プレミアム効率)への段階的移行を促進

対象モータの範囲拡大(特殊用途や高温環境対応など)

表示義務の強化(銘板に効率値、IEコード、試験条件など明記)

試験条件の明確化(標高・温度補正など)



■ 規制の主な比較



	TIS 867-2550	TIS 866 Volume30(101)-2561	TIS 866 Part30(101)-2561
制定年	2007年	2018年	2026年4月18日
効率基準	独自基準	IEC 60034-30-1準拠	IEC準拠 + IE3推奨
IEコード	無	IE2以上義務	IE2義務 + IE3推奨
出力範囲	0.75~185kW	0.12~375kW	0.12~15kW
認証制度	TISI認証	TISI認証	TISI認証(強化)
試験方法	独自	IEC 60034-2-1	IEC 60034-2-1 + 補正条件



これによりTIS 866 Part30(101)-2561が新たな法的基準として施行されます。
IE2以上の効率を満たすモータの導入とTISI認証取得が必須となります。

■ TIS 866 Part30(101)-2561 (2026年4月施行版)

対象モータ(予定)

モータ種別 : 三相かご形誘導モータ (Squirrel Cage Induction Motor)
出力範囲 : 0.12kW~15kW
極数 : 2、4、6、8極
定格電圧 : 1000V以下
周波数 : 50Hz
効率クラス : IE2 (高効率) 以上が義務付けられており、
IE3 (プレミアム効率) への移行が推奨
認証要件 : TISI認証取得が必須



対象外モータ(予定)

- ・インテグレートドモータ (integrated motors)
- ・水中モータ
- ・多速モータ
- ・S2 (短時間定格) 専用モータ
- ・インバーター一体型モータ (単体不可)
- ・再輸出用モータ
- ・トルクモータ (高スリップ)



■ 表示義務と認証制度

TIS-866では、モータの製造者または輸入者に対して、以下の表示および認証取得が求められます。

銘板表示 : 効率値 (%)、効率クラス (IE2、IE3など)、定格出力、電圧、周波数などを明記

認証取得 : TISIによる認証を受けた製品のみが販売可能

試験方法 : IEC 60034-2-1に準拠した試験結果が必要

